

事務事業チェックシート

事務事業No 594 事業名 小中学校科学作品等各種作品展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	1	豊かな心を育む教育の推進
取組方針	3	文化芸術教育の充実

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市教育振興基本計画		
担当課・担当課長・Tel	学校教育課	東 康修	435-1139
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
中事業	小中学校科学作品等各種作品展開催事業			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 児童生徒が参加する作品展の活動を支援し、各教科教育の振興を図る。		全体事業概要 優れた作品を展示・公開・発表し、優秀作品には表彰状を贈呈する。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の美術作品の展示 児童生徒の音楽活動の成果発表 児童生徒の科学作品の展示 児童生徒の読書感想文コンクールの開催 児童の家庭科作品の展示 児童生徒の書道作品の展示 		<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の美術作品の展示 児童生徒の音楽活動の成果発表 児童生徒の科学作品の展示 児童生徒の読書感想文コンクールの開催 児童の家庭科作品の展示 児童生徒の書道作品の展示 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の美術作品の展示 児童生徒の音楽活動の成果発表 児童生徒の科学作品の展示 児童生徒の読書感想文コンクールの開催 児童の家庭科作品の展示 児童生徒の書道作品の展示 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の美術作品の展示 児童生徒の音楽活動の成果発表 児童生徒の科学作品の展示 児童生徒の読書感想文コンクールの開催 児童の家庭科作品の展示 児童生徒の書道作品の展示 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の美術作品の展示 児童生徒の音楽活動の成果発表 児童生徒の科学作品の展示 児童生徒の読書感想文コンクールの開催 児童の家庭科作品の展示 児童生徒の書道作品の展示 		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,048	853	1,048	773	835	671	767		767	
伸び率(%)	-	-	0.0%	▲9.4%	▲20.3%	▲13.2%	▲8.1%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	3,164	3,708	3,530	3,887	3,664	3,864	4,209		4,209
	正規職員以外									
	小計	3,164	3,708	3,530	3,887	3,664	3,864	4,209		4,209
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,048	853	1,048	773	835	671	767		767	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.49	0.47	0.49	0.46	0.48	0.53		0.53
	正規職員以外									
主な予算内訳	印刷製本費 117千円、会場その他借上料 643千円等									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	作品展開催回数(各作品展)		目標値	9	8	8	7	8
			実績値	8	8	7		
			達成度(%)	88.9%	100.0%	87.5%		
成果指標	作品展参加学校(園)数(延べ数)		目標値	501	501	499	498	
			実績値	501	501	484		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	97.0%		
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/		○	/
	縮小	/		/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	子供の学習成果を発表する場として、継続したい。
見直し・改善内容	より多くの学校に参加を促すとともに、優れた作品をモデルとして示すよう各研究会に依頼する。